東京都立葛飾総合高等学校　令和５年度　言語文化　年間授業計画

教　科：　国語　　科　目：　言語文化　　単位数：　2　単位
対象学年組：第　1 学年　A 組～　E 組
教科担当者：（Ａ組：根岸）　（Ｂ組：根岸）　（Ｃ組：奥田）　（Ｄ組：奥田）　（Ｅ組：根岸）
使用教科書：（ 高等学校言語文化（第一学習社）　　）

教科　国語　の目標

【知識及び技能】　生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】　言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目　言語文化　の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
	児のそら寝 【知識及び技能】 ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は，文脈の中で形成されることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 進んで歴史的仮名遣いについて理解し，学習課題に沿って説話のおもしろさを読み取ろうとしている。	・指導事項 説話というジャンルについて理解する。 ・教材 「児のそら寝」 ・一人１台端末の活用 単語や言葉の意味を調べる。 課題の提出。			○	・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。	○	○	○	8
	定期考査									1
	『竹取物語』 【知識及び技能】 ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は，文脈の中で形成されることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 進んで歴史的仮名遣いについて理解し，学習課題に沿って説話のおもしろさを読み取ろうとしている。	・指導事項 古典特有の世界に触れると共に、昔の物語が現代にまで継承されていることを知る。 ・教材 『竹取物語』 ・一人１台端末の活用 単語や言葉の意味を調べる。 課題の提出。			○	・古典特有の世界観に慣れるとともに、千年以上前に作られた物語が現代まで継承されていることを知る。 ・伝奇的作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文語のきまり（動詞の活用）について理解する。	○	○	○	10
	定期考査									1
2学期	『伊勢物語　芥川』 【知識及び技能】 ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。 ・文章の意味は，文脈の中で形成されることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 「読むこと」において、文章の構成や表現の特色について評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 進んで歴史的仮名遣いについて理解し，学習課題に沿って歌物語のおもしろさを読み取ろうとしている。	・指導事項 話の中で和歌が果たしている役割を理解するとともに、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 ・教材 「伊勢物語　芥川」 ・一人１台端末の活用 単語や言葉の意味を調べる。 課題の提出。			○	・歌物語という文章の種類を踏まえて、話の中で和歌が果たしている役割を抑え、読み解き方を理解する。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文語の決まり（動詞・助動詞）について理解する。	○	○	○	9
	『古文を読むために』 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力】 自分の思いが効果的に伝わるよう、語句や表現の仕方を工夫することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者と進んで関わろうとしている。	・指導事項 古典和歌の修辞法について理解する。 ・教材 「古文を読むために」 ・一人一台端末の活用 課題の提出。単語や言葉の意味を調べる。		○		・和歌の修辞法など、我が国の言語文化に特徴的な表現の技法と効果について理解し、文章の中で適切に使うことができる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・言葉を通して他者と積極的に関わろうとしている。	○	○	○	4
	定期考査									1

	『その子二十』 【知識及び技能】 ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において，作品に表れているものの見方、感じ方を捉え内容を解釈している。 ・作品の解釈を踏まえて、自分の意見や考えをもつ。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者と進んで関わろうとしている。	指導項目 短歌の鑑賞の仕方を理解し、近代を代表する歌人の作品を味わう。 ・教材 「その子二十」 ・一人一台端末の活用 語彙や修辞法、短歌の解釈を調べる。			○	・短歌の修辞法など、我が国の言語文化に特徴的な表現の技法と効果について理解し、作品を味わうことができる。 ・作品を鑑賞し、言葉を通して自分の意見や考えを他者と交流できる。	○	○	○	9
	『Iwasborn』 【知識及び技能】 ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において，作品に表れているものの見方、感じ方を捉え内容を解釈している。 ・作品の解釈を踏まえて、自分の意見や考えをもつ。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉が持つ、価値への認識を深めると共に、言葉を通して他者と関わろうとしている。	指導事項 散文詩に親しみ、「Iwasborn」がどのようなどのようなイメージで捉えられているかを読み取る。 ・教材 『Iwasborn』 .語彙を調べる。課題の提出。			○	・散文詩の形式など、我が国の言語文化に特徴的な表現の技法と効果について理解し、作品を味わうことができる。 ・作品を鑑賞し、言葉を通して自分の意見や考えを他者と交流できる。	○	○	○	5
	『人形浄瑠璃文楽　三業一体の技』 【知識及び技能】 ・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化への理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ ・作品の解釈を踏まえて、自分の意見や考えをもつ。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉が持つ、価値への認識を深めると共に、言葉を通して他者と関わろうとしている。	指導事項 我が国の伝統芸能に関する文章を読んで、扱われている題材や表現の技法に興味を持つ。 ・教材 『人形浄瑠璃文楽　三業一体の技』 .語彙を調べる。課題の提出。			○	・我が国の言語文化の特徴や我が国の文化について理解できる。 ・作品の内容や形式を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を持つことができる。	○	○	○	6
	定期考査									1
3学期	「論語」 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確に捉えている ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漢文訓得のきまりを理解しようとしている。 ・『論語』『孟子』に興味をもち、現代に生きている言葉や考え方について理解しようとしている。	・指導事項 基本的な漢文の知識を理解する。 ・教材 『論語』 ・一人１台端末の活用 単語や言葉の意味を調べる。 課題の提出。			○	・基本的な訓読のきまりを理解し、説明できる。 ・重要語句や句法、漢字の意味を確認するため漢和辞典を活用している。 ・対句的な文章表現とその効果について理解し、説明している。 ・『論語』に表れた孔子の考え方を理解し、孔子が登場した時代背景について説明している ・それぞれの章の本文の構成を把握し、内容を正しくまとめている。 ・『論語』の本文から生まれた年齢ごとの呼称について理解し、覚えている。 ・「学」と「習」の意味の違いに関心をもち、漢和辞典などで調べ、説明できる。 ・孔子の学問、政治に対する考え方を理解し、説明している。 ・教材に興味をもって意欲的に学習に取り組もうとしている。 ・文章に含まれる情報を相互に関係づけながら、文章を読み味わう。	○	○	○	7
	「故事成語」 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・故事成語の内容や文化的背景に興味を持ち、学習したことを普段の生活の中に生かそうとする。	・指導事項 本的な漢文の知識を理解する。 ・教材 故事成語 ・一人１台端末の活用 単語や言葉の意味を調べる。 課題の提出。			○	・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などを適切に用いることができる。 ・本文を正確に音読でき、的確に書き下し文に直すことができる。 ・登場人物の関係や時代背景などを正確に理解し、説明できる。 ・話の展開を理解し、説明できる。 ・教材に興味をもって意欲的に取り組み、教材以外の故事成語についても積極的に調べようとしている。	○	○	○	7
	定期考査									1
									合計	
									70	